

昭和38年～47年

躍進する部活動

全国大会出場など、多くの大会で輝かしい成績を残し、どの部活も熱く活動していました。

部活動の活躍

岐阜国体

高校女子徒手体操第2位入賞



全国高等学校駅伝初出場



テニスに夢中だった益高の3年間

益高の思い出は、なんといってもテニスに明け暮れた毎日であったことです。早朝練習はもちろん夕方は暗くなるまでテニスコートや部室にいた記憶があります。練習は厳しいものでした。この厳しさは先輩の怖さとか不当なしごきではなく、テニス部が伝統的に創り上げてきたものでした。卒業された先輩の中にはインターハイに出場された方もみえ、テニス部の目標は県総体での上位入賞とインターハイ出場でした。

当時は当たり前と受け止めていましたが、土曜日、日曜日の練習には必ず数名の先輩が練習に参加してくださいと熱心にコーチをしてくださいました。改めて諸先輩の方々の熱意には頭の下がる思いです。先輩の皆さんの姿勢とテニス部の中にあつた自主的に練習に取り組む雰囲気の中でテニスに熱中できたのではないかと思います。その結果としてインターハイ出場という貴重な経験もさせていただくことができました。先輩をはじめ一緒に練習してきた仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。

当時の益高にはどの部も地区制覇、県大会への挑戦。さらに上位を目指していこうとする雰囲気がありました。その結果として益高チーム、あるいは選拔選手として東海大会、全国大会にも出場していました。陸上部、ハンドボール部、山岳部、剣道部、軟式野球部、バトミントン部、柔道部、体操部、バレー部：どの部も熱く活動していたことを鮮明に覚えています。

(昭和46年度卒業生)

男子テニス部 インターハイ出場



山岳部 国体・インターハイ出場



ハンドボール部 インターハイ出場

